



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月14日

上場会社名 サイボー株式会社

上場取引所 東

コード番号 3123 URL <https://www.saibo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯塚 剛司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部経理部長 (氏名) 米澤 幸男

TEL 048-267-5151

定時株主総会開催予定日 2021年6月29日

配当支払開始予定日

2021年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	6,729	△11.5	729	1.8	874	22.8	587	—
2020年3月期	7,601	△9.9	716	—	711	—	△65	—

(注) 包括利益 2021年3月期 1,209百万円 (—%) 2020年3月期 △351百万円 (—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	44.53	—	4.2	2.6	10.8
2020年3月期	△4.94	—	△0.5	2.7	9.4

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 124百万円 2020年3月期 2百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	39,133	16,611	37.1	1,098.23
2020年3月期	27,351	15,582	49.6	1,027.39

(参考) 自己資本 2021年3月期 14,509百万円 2020年3月期 13,561百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	2,135	△12,140	10,068	1,620
2020年3月期	738	△3,443	2,480	1,557

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00	182	—	1.3
2021年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00	182	31.4	1.3
2022年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00		88.1	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,079	23.2	89	△69.8	97	△73.0	30	△87.2	2.27
通期	8,291	23.2	424	△41.9	412	△52.9	210	△64.3	15.89

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	14,000,000 株	2020年3月期	14,000,000 株
② 期末自己株式数	2021年3月期	788,007 株	2020年3月期	800,007 株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	13,200,289 株	2020年3月期	13,195,977 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	5,731	△12.4	696	9.7	661	3.7	438	—
2020年3月期	6,543	△10.6	635	—	637	—	△44	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	32.83	—
2020年3月期	△3.35	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	34,555	11,577	33.5	866.34
2020年3月期	23,187	10,881	46.9	814.90

(参考) 自己資本 2021年3月期 11,572百万円 2020年3月期 10,875百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により国内外における移動制限や生産活動の低迷、各種イベントの開催自粛、飲食店・商業施設の営業時間短縮など経済活動の停滞が継続しました。また、海外においても、感染症終息に見通しはたたず、世界経済の先行きは予断を許さない状況にあります。

当社グループにおける事業環境は、繊維事業では各部門において新型コロナウイルス感染症の影響により需要が落ち込み、また営業活動も制限されたことから、大変厳しい状況下での事業活動となりました。不動産活用事業は、大型商業施設「イオンモール川口」の建替・新築の工事が完成間近となり、イオンモール㈱と新たに賃貸借契約を締結しました。一方、既存の賃貸物件である「イオンモール川口前川」や病院施設等からの安定した賃貸収入を維持しており、営業収益の安定化が図られております。

この結果、当連結会計年度の売上高は6,729百万円（前期比11.5%減）となりました。営業利益は729百万円（前期比1.8%増）となり、経常利益は874百万円（前期比22.8%増）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は587百万円（前期は65百万円の同純損失）となりました。

事業別セグメントの概況は次のとおりであります。なお、事業別セグメントの売上高及び営業利益又は損失は、セグメント間の内部取引消去前の金額であります。

① 繊維事業

マテリアル部は、国内市況が低迷していたところにコロナ禍での衣料品需要の減退の影響が重なり、原糸・生地販売ともに減収減益となりました。

アパレル部は、緊急事態宣言等により百貨店外商の営業自粛やスポーツ関連イベントの中止等となったことが影響し、減収減益となりました。

アウトドア部は、コロナ禍においても三密を避けたレジャーとしてキャンプ関連商品の需要が高まり、増収増益となりました。

刺繍レースを扱うフロリア㈱は、新規販売先との取引が増加したものの、服地及び付属レースの国内需要が減少したことから減収減益となりました。

なお、不採算部門であったメンズカジュアル商品販売は、前期に撤退したことにより、当期の売上高減少の一因となったものの、営業損失の縮小に繋がっております。

この結果、繊維事業の売上高は3,452百万円（前期比21.9%減）となり、営業損失は12百万円（前期は72百万円の営業損失）となりました。

② 不動産活用事業

不動産活用事業は、「イオンモール川口前川」が近隣の大型商業施設に比べ回遊型ショッピングができるというお客様の利便性と近隣住民の生活環境にあった専門店選びが評価されており、さらに埼玉県内の医療体制の充実を目的とした病院等施設を賃貸することにより不動産活用事業は安定した収益基盤を維持しております。なお、「イオンモール川口」は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け工事期間を延長しましたが、2021年5月に建替・新築工事が概ね完成し、イオンモール㈱に賃貸することとなりました。また、不足している産婦人科を誘致し地域に貢献するとともに安定収益を維持するため「かわぐちレディースクリニック」の賃貸を、2020年4月に開始しております。

この結果、不動産活用事業の売上高は2,344百万円（前期比3.8%増）、営業利益は690百万円（前期比0.9%減）となりました。

③ ゴルフ練習場事業

埼玉興業㈱が営む川口・黒浜・騎西の各グリーンゴルフ練習場は、新型コロナウイルス感染防止の観点から一時休業を行った影響により大幅な減収となりましたが、7月以降は前年同月程度の水準まで回復してきました。また、SNSを利用したサービスの拡充を図り新規顧客の獲得に努めてまいりました。

この結果、ゴルフ練習場事業の売上高は833百万円（前期比6.8%減）、営業利益は31百万円（前期比60.9%減）となりました。

④ その他の事業

ディアグリーン課の緑化事業は、2021年3月末日をもって終了することを期中に取り決め、営業活動を抑制したため減収となり、営業損失が増加しました。

神根サイボー(株)のインテリア施工事業は、一般住宅施工が増えたことや、大口物件の受注もあり増収増益となりました。

この結果、その他の事業の売上高は615百万円（前期比7.7%増）、営業利益は34百万円（前期比3.3%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ11,781百万円増加して39,133百万円となりました。これは主に商品及び製品や繰延税金資産の減少や減価償却により償却資産が減少したものの、建設中である大型商業施設「イオンモール川口」に係る建設仮勘定の増加や株式市況の改善に伴う投資有価証券の増加等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ10,752百万円増加して22,521百万円となりました。これは主に「イオンモール川口」の建設資金に充当する目的として長期借入金が増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,029百万円増加して16,611百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益の計上やその他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前連結会計年度末に比べ63百万円増加して1,620百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は前連結会計年度に比べ1,397百万円増加して2,135百万円となりました。これは主に固定資産除却損が減少したものの、税金等調整前当期純利益、仕入債務、預り保証金、未払又は未収消費税等がそれぞれ増加したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は前連結会計年度に比べ8,696百万円増加して12,140百万円となりました。これは主に固定資産の除却による支出が減少したものの、有形固定資産の取得による支出の増加や投資有価証券の売却による収入が減少したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は前連結会計年度に比べ7,587百万円増加して10,068百万円となりました。これは主に長期借入れによる収入が増加したこと等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率	52.5%	52.2%	53.5%	49.6%	37.1%
時価ベースの自己資本比率	59.7%	59.5%	59.8%	55.5%	44.3%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	2.6年	7.4年	2.4年	6.1年	6.9年
インタレスト・カバレッジ・レシオ	44.2倍	24.3倍	72.7倍	51.2倍	61.4倍

(注) 自己資本比率 : 自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株価時価総額/時価ベースの総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債/営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー/利払い

※いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※時価ベースの総資産は、自己資本を時価ベースに置き換えて算出しております。

※キャッシュ・フローは、自己資本を時価ベースに置き換えて算出しております。有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち、借入金を対象としております。また、利払いについては当該有利子負債に係る利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的なワクチン接種の期待が高まるものの、国内外の感染症終息の見通しはたえず、景気の先行きは引き続き不透明であります。

このような状況のもと当社グループは「繊維事業の黒字化」、安定した収益を生み出す「不動産活用事業のさらなる拡充」、当社グループにおける「その他の事業の収益貢献度の向上」を経営課題とし、事業体制の強化と収益力の向上を図ってまいります。

次期の連結業績は、2021年5月より「イオンモール川口」の賃貸が開始され、大幅な売上高の増加に繋がるものの、当該建物等に係る不動産取得税及び登記料の費用計上を想定しております。また、既存の賃貸物件である「イオンモール川口前川」のリニューアル工事による費用も予算として見ていることから、これら一時的な営業費用を700百万円程度と見積っており、当期に比べ営業利益は減少する見込みです。

次期の連結通期業績予想は、売上高8,291百万円、営業利益424百万円、経常利益412百万円、親会社株主に帰属する当期純利益210百万円を見込んでおります。

なお、セグメント別売上高は次のとおりです。

繊維事業	3,971百万円
不動産活用事業	3,427百万円
ゴルフ練習場事業	933百万円
その他の事業	539百万円
全社又は消去	△580百万円

上記業績予想の算定においては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。また、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進み、感染拡大が抑えられ、国内の経済活動が徐々に正常化に向かうことを前提として、算定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,818,024	1,820,349
受取手形及び売掛金	979,880	951,152
有価証券	99,990	-
商品及び製品	1,042,157	851,947
仕掛品	11,961	7,695
原材料及び貯蔵品	32,727	28,545
その他	341,634	154,738
貸倒引当金	△5,024	△4,968
流動資産合計	4,321,351	3,809,461
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,780,601	20,865,152
減価償却累計額	△11,302,086	△11,881,255
建物及び構築物(純額)	9,478,515	8,983,896
機械装置及び運搬具	66,034	64,705
減価償却累計額	△61,448	△61,537
機械装置及び運搬具(純額)	4,585	3,168
工具、器具及び備品	534,437	533,453
減価償却累計額	△335,827	△377,844
工具、器具及び備品(純額)	198,609	155,608
土地	7,462,378	7,658,811
リース資産	115,730	115,463
減価償却累計額	△3,290	△7,938
リース資産(純額)	112,439	107,525
建設仮勘定	1,310,212	13,199,526
有形固定資産合計	18,566,742	30,108,537
無形固定資産	24,425	17,328
投資その他の資産		
投資有価証券	3,672,718	4,656,690
繰延税金資産	516,332	270,416
その他	319,458	346,954
貸倒引当金	△69,531	△76,142
投資その他の資産合計	4,438,977	5,197,919
固定資産合計	23,030,144	35,323,785
資産合計	27,351,496	39,133,246

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	469,612	449,833
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	811,450	1,100,758
未払法人税等	12,448	119,087
賞与引当金	53,958	51,088
役員賞与引当金	6,350	6,350
その他	215,906	472,195
流動負債合計	1,619,726	2,249,312
固定負債		
長期借入金	3,669,214	13,649,273
役員退職慰労引当金	252,838	242,242
退職給付に係る負債	184,164	195,826
長期預り保証金	5,494,917	5,567,727
資産除去債務	358,075	361,588
その他	190,412	255,488
固定負債合計	10,149,622	20,272,146
負債合計	11,769,349	22,521,458
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,402,000	1,402,000
資本剰余金	872,299	874,236
利益剰余金	11,491,892	11,896,778
自己株式	△489,395	△483,820
株主資本合計	13,276,796	13,689,193
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	350,782	897,509
繰延ヘッジ損益	-	△58,136
退職給付に係る調整累計額	△66,078	△18,696
その他の包括利益累計額合計	284,703	820,676
新株予約権	6,265	4,861
非支配株主持分	2,014,381	2,097,056
純資産合計	15,582,147	16,611,787
負債純資産合計	27,351,496	39,133,246

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	7,601,074	6,729,224
売上原価	5,501,016	4,766,441
売上総利益	2,100,057	1,962,783
販売費及び一般管理費	1,383,761	1,233,534
営業利益	716,295	729,248
営業外収益		
受取利息	1,948	1,562
受取配当金	90,324	76,790
持分法による投資利益	2,147	124,063
その他	32,354	32,125
営業外収益合計	126,775	234,542
営業外費用		
支払利息	25,543	36,539
固定資産除却損	51,017	34,268
その他	54,611	18,554
営業外費用合計	131,172	89,362
経常利益	711,898	874,428
特別利益		
新株予約権戻入益	1,408	2,196
特別利益合計	1,408	2,196
特別損失		
減損損失	-	48,498
固定資産除却損	664,610	-
投資有価証券評価損	13,015	-
特別損失合計	677,626	48,498
税金等調整前当期純利益	35,679	828,126
法人税、住民税及び事業税	19,956	122,767
法人税等調整額	99,719	49,683
法人税等合計	119,676	172,451
当期純利益又は当期純損失(△)	△83,996	655,675
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△18,805	67,911
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に 帰属する当期純損失(△)	△65,190	587,763

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△83,996	655,675
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△262,902	532,382
繰延ヘッジ損益	-	△58,136
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,455	79,221
その他の包括利益合計	△267,357	553,467
包括利益	△351,354	1,209,142
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△329,522	1,123,736
非支配株主に係る包括利益	△21,831	85,406

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,402,000	871,061	11,739,863	△494,970	13,517,955
当期変動額					
剰余金の配当			△182,779		△182,779
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△65,190		△65,190
自己株式の処分		1,237		5,574	6,812
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	1,237	△247,970	5,574	△241,158
当期末残高	1,402,000	872,299	11,491,892	△489,395	13,276,796

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計			
当期首残高	618,302	-	△69,266	549,035	7,335	2,038,945	16,113,271
当期変動額							
剰余金の配当							△182,779
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)							△65,190
自己株式の処分							6,812
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△267,520	-	3,188	△264,331	△1,070	△24,563	△289,965
当期変動額合計	△267,520	-	3,188	△264,331	△1,070	△24,563	△531,124
当期末残高	350,782	-	△66,078	284,703	6,265	2,014,381	15,582,147

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,402,000	872,299	11,491,892	△489,395	13,276,796
当期変動額					
剰余金の配当			△182,877		△182,877
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			587,763		587,763
自己株式の処分		1,937		5,574	7,512
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	1,937	404,885	5,574	412,397
当期末残高	1,402,000	874,236	11,896,778	△483,820	13,689,193

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計			
当期首残高	350,782	-	△66,078	284,703	6,265	2,014,381	15,582,147
当期変動額							
剰余金の配当							△182,877
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)							587,763
自己株式の処分							7,512
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	546,727	△58,136	47,381	535,972	△1,404	82,674	617,243
当期変動額合計	546,727	△58,136	47,381	535,972	△1,404	82,674	1,029,640
当期末残高	897,509	△58,136	△18,696	820,676	4,861	2,097,056	16,611,787

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	35,679	828,126
減価償却費	610,026	659,971
減損損失	-	48,498
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	37,621	6,553
賞与引当金の増減額 (△は減少)	296	△2,870
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	15,282	11,661
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△6,914	△10,596
受取利息及び受取配当金	△92,272	△78,353
支払利息	25,543	36,539
持分法による投資損益 (△は益)	△2,147	△124,063
有形固定資産売却損益 (△は益)	-	471
固定資産除却損	715,627	34,268
投資有価証券評価損益 (△は益)	13,015	-
売上債権の増減額 (△は増加)	162,434	△10,745
たな卸資産の増減額 (△は増加)	90,893	198,658
仕入債務の増減額 (△は減少)	△237,035	△19,779
預り保証金の増減額 (△は減少)	△481,311	72,809
未払又は未収消費税等の増減額	△201,547	401,120
その他	△93,870	64,704
小計	591,322	2,116,976
利息及び配当金の受取額	95,000	81,080
利息の支払額	△25,543	△36,539
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	77,236	△26,432
営業活動によるキャッシュ・フロー	738,015	2,135,085
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	-	100,000
有形固定資産の取得による支出	△2,670,369	△12,207,351
固定資産の除却による支出	△1,010,702	△34,268
有形固定資産の売却による収入	-	364
投資有価証券の取得による支出	△157,609	△121,694
投資有価証券の売却による収入	362,450	49,256
定期預金の増減額 (△は増加)	△3,210	61,247
貸付けによる支出	△1,200	-
貸付金の回収による収入	5,390	5,400
その他	31,540	6,960
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,443,711	△12,140,086

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	580,000	320,000
短期借入金の返済による支出	△580,000	△320,000
長期借入れによる収入	3,300,000	11,100,000
長期借入金の返済による支出	△615,278	△830,632
配当金の支払額	△182,779	△182,877
非支配株主への配当金の支払額	△2,732	△2,732
ストックオプションの行使による収入	6,114	7,152
その他	△24,446	△22,337
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,480,877	10,068,572
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△224,818	63,572
現金及び現金同等物の期首残高	1,782,235	1,557,417
現金及び現金同等物の期末残高	1,557,417	1,620,990

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業本部を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、セグメント情報においては、「繊維事業」「不動産活用事業」「ゴルフ練習場事業」を報告セグメントとしております。

「繊維事業」は、繊維品の製造販売を行っており、「不動産活用事業」は、商業施設・その他不動産の賃貸及びビルメンテナンスの運営を行っており、「ゴルフ練習場事業」は、ゴルフ練習場の運営を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

セグメント間の内部取引における価格は、外部顧客との取引価格に準じております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	繊維	不動産活用	ゴルフ練習場	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,413,719	1,987,981	894,530	7,296,231	304,842	7,601,074
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,487	270,326	21	278,834	266,691	545,526
計	4,422,206	2,258,307	894,551	7,575,066	571,534	8,146,600
セグメント利益又は損失(△)	△72,976	696,971	80,456	704,451	33,672	738,124
セグメント資産	2,194,418	15,702,949	2,303,887	20,201,255	444,221	20,645,477
その他の項目						
減価償却費	9,307	494,243	103,615	607,167	2,858	610,026
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 (注) 2	116,319	2,220,420	456,542	2,793,282	911	2,794,194

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、緑化事業、インテリア施工事業等を含んでおります。

2 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、資産除去債務に対応する除去費用を含めておりません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	繊維	不動産活用	ゴルフ練習場	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,444,231	2,074,619	833,910	6,352,762	376,462	6,729,224
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,471	270,323	—	278,794	238,908	517,703
計	3,452,703	2,344,943	833,910	6,631,557	615,370	7,246,928
セグメント利益又は損失(△)	△12,921	690,527	31,441	709,047	34,797	743,844
セグメント資産	1,935,317	27,615,330	1,993,192	31,543,840	486,647	32,030,488
その他の項目						
減価償却費	16,391	521,850	118,430	656,672	3,299	659,971
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	6,588	12,151,529	75,006	12,233,124	2,147	12,235,272

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、緑化事業、インテリア施工事業を含んでおります。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	7,575,066	6,631,557
「その他」の区分の売上高	571,534	615,370
セグメント間取引消去	△545,526	△517,703
連結財務諸表の売上高	7,601,074	6,729,224

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	704,451	709,047
「その他」の区分の利益	33,672	34,797
セグメント間取引消去	△21,828	△14,595
連結財務諸表の営業利益	716,295	729,248

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	20,201,255	31,543,840
「その他」の区分の資産	444,221	486,647
全社資産(注)	6,706,019	7,102,758
連結財務諸表の資産合計	27,351,496	39,133,246

(注) 全社資産は主に余資運用資金(現金及び預金・有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額(注) 1		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	607,167	656,672	2,858	3,299	—	—	610,026	659,971
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額 (注) 2	2,793,282	12,233,124	911	2,147	690	11,331	2,794,884	12,246,604

(注) 1 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、管理部門及び全社に属する設備投資額であります。

2 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、資産除去債務に対応する除去費用を含めておりません。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
イオンモール(株)	1,700,037	繊維、不動産活用及びその他
キャンパルジャパン(株)	769,175	繊維及びその他

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
イオンモール(株)	1,706,512	繊維、不動産活用及びその他
キャンパルジャパン(株)	868,196	繊維及びその他

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	繊維	不動産活用	ゴルフ練習場	計			
減損損失	—	23,971	24,526	48,498	—	—	48,498

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,027.39円	1,098.23円
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	△4.94円	44.53円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、前連結会計年度は希薄化効果を有する潜在株式は存在せず、また、一株当たり当期純損失であるため、当連結会計年度は希薄化効果を有する潜在株式は存在しないため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△65,190	587,763
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社株主に帰属する 当期純損失(△)(千円)	△65,190	587,763
普通株式の期中平均株式数(株)	13,195,977	13,200,289
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	潜在株式の種類と数 2014年から2019年発行分の ストックオプション 新株予約権 2,140個	潜在株式の種類と数 2015年から2020年発行分の ストックオプション 新株予約権 2,030個

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2020年3月31日)	当連結会計年度末 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	15,582,147	16,611,787
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	2,020,646	2,101,917
(うち新株予約権(千円))	(6,265)	(4,861)
(うち非支配株主持分(千円))	(2,014,381)	(2,097,056)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	13,561,500	14,509,870
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(株)	13,199,993	13,211,993

(重要な後発事象)

該当事項はありません。